



矢祭小だより

矢祭町立矢祭小学校

令和3年6月23日(水)

学校だより No.9

文責 伊藤 弘行

手縫いの学習 5年

5年生が初めての裁縫の授業を行っています。玉結び、なみ縫い、玉止めなどの細かい作業を



「ゆいゆい隊」の皆さんに教えていただきながら進めています。

滝川溪谷散策 4年

18日(金)、4年生が滝川溪谷散策を行いました。天候にも恵まれ、初夏の滝川を楽しみました。



谷川沿いの山道を歩きながら、森の案内人の方から樹木のこと、川のことなど、お話を聴くことができました。

学力向上授業研究会 3年

18日(金)、3年生が道徳科の授業を行いました。町の学力向上授業研究会として行われた授業をこども園や矢祭中学校の先生方も参観しました。



授業は、「しんせつとおせっかい」という主題で、「本当の親切とは？」ということなのか考えました。子ども同士とても活発な意見交換が行われました。

密を避けるため、こども園と中学校の先生方には、T V中継で別室で見いただきました。



子育て『ことわざ』その1

○ 転ばずに育った子どもは、再び立ち上がることを学ばない。

親ならば誰しも、我が子が転ぶところや壁にぶつかる場所は見たくないものです。そこで、ついつい子どもの行く手にあるデコボコを平らにならしてあげたり、壁にぶつからないように壁を取り除いてあげたりしたくなりますよね。それがこの子の幸せだと信じて。

でも、人生はデコボコだらけだし、いろんな壁もあります。「転ばずに育った子どもは、再び立ち上がることを学ばない」これはその子にとって悲劇的なことです。

本当なら子ども自身が解決しなければならないトラブルも、大人が出てきて代わりに解決してあげてしまう。子ども自身にきちんと責任を取らせなければならない行為も、大人が出てきて表面的な解決で済ませてしまう。これもまたことわざと同じことです。いつまでも大人を頼り、自力でトラブルを解決することができません。

私も息子と娘を育てた経験から、大ケガをしない程度なら、転んだり壁にぶち当たったりする経験をさせることは、とても大切だと感じています。